オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(65)(HP 収載）
―ネルソンスのマーラー9 番―

１．始めに

前報(64)に引き続き、STAGE+のネルソンスのマーラー9 番の演奏の試聴を実施します。

２．試聴音源

今回は、ネルソンスのマーラー9 番の演奏を選びました。

ネルソンスがマーラー9 番を指揮

サイトウ・キネン・オーケストラ

収録日: 2022 年 11 月 26 日

ボストン交響楽団の音楽監督就任後、三度のグラミー賞受賞という偉業を成し遂げた指揮者のアンドリス・ネルソンスが 2022 年 11 月、「セイジ・オザワ松本フェスティバル 30 周年記念特別公演」に登場しました。本映像では、同フェスティバルのための特別編成オーケストラ「サイトウ・キネン・オーケストラ」と共にマーラーの最高傑作である交響曲第 9 番を演奏した際の模様が収められており、ネルソンスが楽曲に漂う「死」の世界を鮮烈に描き出していく様をご覧いただくことができます。

演奏:

サイトウ・キネン・オーケストラ

指揮:

アンドリス・ネルソンス

曲目:

グスタフ・マーラー　交響曲第 9 番ニ長調

３．試聴の経過

セイジ・オザワキネン松本フェスティバル 30 周年記念特別公演で、指揮にはアンドリス・ネルソンスを招いての演奏会です。

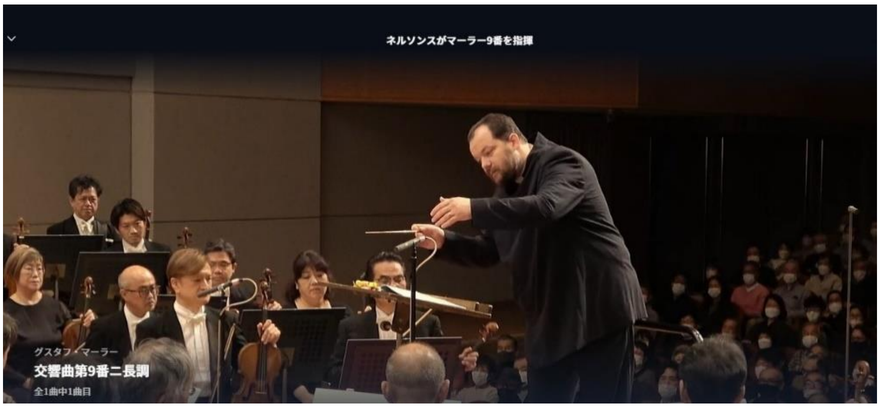
この 9 番は、「大地の歌」を含めると 10 番になりますが、マーラーの交響曲の集大成とされており、「別れ」や「死」がモチーフと言われています。

そういう意味で、静寂から怒涛、抑揚や起伏など、いろいろな仕掛けがある壮大な曲です。激しい慟哭のような表情があって、最後は静かな別れとなって終わります。

演奏終了後、2 回もオーケストラ全員がステージに呼び出され、車椅子に乗った小沢征爾も現れました。

サイトウ・キネン・オーケストラの公演は、小澤征爾の指揮で NHK の放送を何度か聴いていますが、音質面ではあまり良い印象はありませんでした。

今回、SATGE+の配信で聴いてみて、演奏の力量も伝わってきましたし、音質面でも良好な印象を持ちました。



４．まとめ

以上の STAGE+配信は、追加の LAN iSilencer の効果も加わって、マーラーらしい壮大な構成の曲を表現できていました。

以上